

# 倒伏しにくい・良質・良食味品種「はえぬき」

山形県農業総合研究センター水田農業試験場

## 育成

- 昭和57年、山形県立農業試験場庄内支場（現：山形県農業総合研究センター水田農業試験場）において、「庄内29号」を母、「秋田31号（のちのあきたこまち）」を父に人工交配し、選抜・育成
- 育種目標は、「ササニシキ」に代わる平坦地域向けの良質、良食味品種
- 食味関連特性調査（官能試験、近赤外分光分析計による玄米粗タンパク質含量、アミロース自動分析装置による精米アミロース含量、アミログラム特性、テクスチュログラム特性）を本格的に活用して選抜・育成
- 系統名「山形45号」で奨励品種決定調査に供試
- 品種登録：平成5年1月18日（平成20年1月19日育成者権消滅）

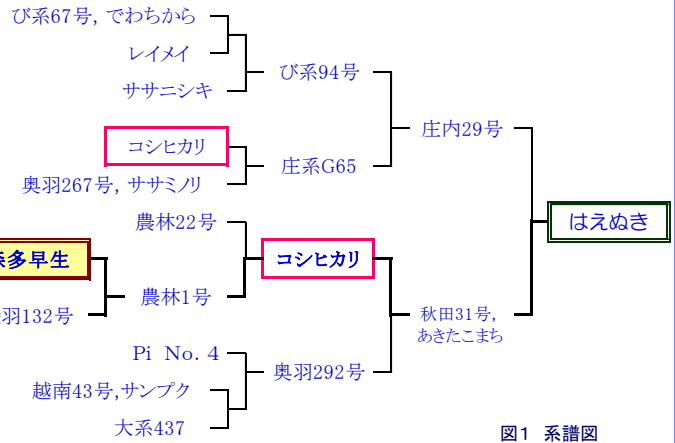


図1 系譜図

## 特性

- 熟期：育成地では出穂期は「ササニシキ」より3日遅い“中生の晩”
- 稈長・草型：短稈・中間型
- 特性
  - ・耐倒伏性“強”
  - ・いもち病真性抵抗性遺伝子型“*Pia, Pii*”
  - ・葉いもち、穂いもち圃場抵抗性はともに“中”
  - ・耐冷性“極強”
  - ・穂発芽性“やや難”
- 収量性
  - ・玄米千粒重：「ササニシキ」より1g重い
  - ・精玄米重：倒伏しにくく、肥沃な条件では「ササニシキ」を上回る
- 玄米品質
  - ・光沢があり、粒張りも良く良好
- 食味
  - ・炊飯米の光沢、粘りと味が良く、「ササニシキ」より優れ良好
  - ・食感は「コシヒカリ」に類似した粘りと旨さ



写真1 食味官能試験の準備

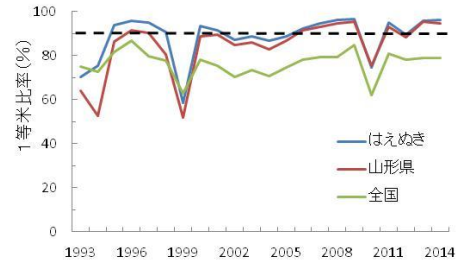


図2 1等米比率の推移(農林水産省)

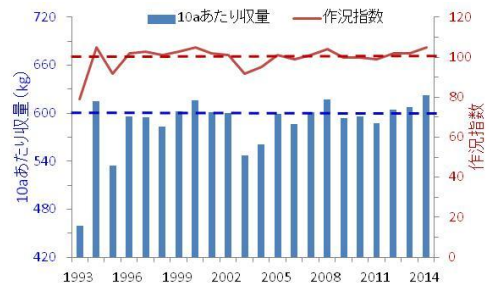


図3 山形県の10aあたり収量と作況指数の推移(農林水産省)

表1 特性

品種名	出穂期 (月・日)	稈長 (cm)	精玄米重 (kg/a)	同左 比率	千粒重 (g)	品質 (1~9)	食味	耐倒伏性	耐冷性	穂発芽性	いもち病抵抗性		
											真性	葉	穂
はえぬき	8.10	67	62.0	93	22.3	3.3	+0.4	強	極強	やや難	<i>Pia, Pii</i>	中	中
ササニシキ	8.07	75	66.6	100	21.3	5.3	基準	弱	やや弱	やや易	<i>Pia</i>	やや弱	弱

調査場所：育成地 調査年次：昭和63～平成2年

### セールスポイント：

短稈で耐倒伏性に優れ、収量・品質・食味ともに年次変動小さく、安定確収  
直播栽培でも倒伏少なく、安定して収量・品質・食味を確保

## 普及

- 平成3年に山形県奨励品種、平成7年に「ササニシキ」を抜いて作付1位となり、現在、作付面積の6割を超える主力品種
- 大分県(平成12年)、秋田県(平成13年)、香川県(平成15年)でも奨励品種
- 平成6年より食味ランキング22年連続特A(継続中)
- 産地品種銘柄設定(平成28年度)8県  
山形県、秋田県、福島県、新潟県、福井県、茨城県、香川県、大分県
- 作付面積は全国で4万ヘクタール強で品種別作付比率6位(平成28年)

